

# 平成21年11月教育委員会臨時会会議録

## 付議事項

議案第41号 平成22年度和歌山県立高等学校生徒募集定員（案）について

山口教育長から、平成22年度和歌山県立高等学校生徒募集定員（以下、「定員」という。）については、去る10月20日に決定され、教育委員会定例会終了後に記者発表をしたところであるが、その後において、県内の経済状況が公表されたことや、国における高等学校授業料の無償化の動きが具体化してきたことなどにより、県立高等学校への入学志願者が増加することが予想され、先にご決定いただいた定員に追加する内容をご審議いただくため、臨時会を招集していただいた。慎重な審議のうえ決定をお願いしたいとの説明があった。

北浦学校指導課長から、1学級40名を増やす学校については、今年度末の各地域における中学校卒業者数、地域内外への流入・流出予定者数及び昨年度の入学者選抜試験出願状況などを踏まえて、日高高等学校普通科としたいとの説明があった。

委員から、一度決定した定員を2週間後に変更することに伴う学校への影響について質問があり、学校指導課長から、中学校における進路指導が始まった時期であるため、現段階での変更に伴う影響は小さいとの説明があった。

委員から、日高高等学校普通科において1学級40名を増やす根拠について質問があり、学校指導課長から、日高地方は昨年度の入学者選抜制度の変更もあり、地元志向が予想以上に上回り、西牟婁地方とともに受検者が超過した地域である。こうしたことと、今年度学級数を増加した地域のバランス等を総合的に考慮して決定したとの説明があった。

委員から、10月20日に決定・公表した定員を、2週間後に変更するという社会的な影響などについても十分考慮しながら決定したいとの発言があり、学校指導課長から、政権の交代や和歌山県の経済状況などの急速な変化を、前回の決定時に盛り込めなかったことについては深く反省するところであります。しかし、「和歌山の生徒は和歌山で育てる」という考えを基本として今回

の提案をしたとの説明があった。

委員から、各地方からの定員に対する陳情数について質問があり、学校指導課長から6地方からあったが、10月20日以降は0件であるとの説明があった。

委員から、昨年9月の教育委員会臨時会において、平成21年度から新しい県立高等学校入学者選抜制度を導入することを決定したが、スケジュール的な問題もあって、受検生や保護者に対する説明が十分でなかったように感じている。今般、定員を変更することの根拠・理由をきちんと説明しなければ、学校関係者や保護者などから批判的な意見が寄せられることが懸念されるとの意見があった。

委員長から、定員は単年単位ではなく、将来予測も十分加味して検討しなければならない。また、「和歌山の生徒は和歌山で育てる」ためには、単に募集定員の確保のみでなく、社会のニーズに合った魅力ある学校づくりや学科編成、授業内容の充実などに一層努力しなければならないとの意見があった。

以上の審議の結果、原案のとおり決定した。